

心肺蘇生法

- 1.意識を確認する
- 2.救急車の要請およびAEDを現場に届けてもらうよう協力を求める
- 3.普段どおり呼吸をしているか確認
- 4.呼吸がなければ胸骨圧迫(心臓マッサージ)30回
- 5.気道確保(空気の通る道をつくる)
- 6.人工呼吸2回(行うことができなければ省略可)

※4、6を2分間(5サイクル)行い、1、3を確認し、状態が変わらなければ4、6をさらに2分間行います。これを救急車が到着するまで繰り返します。

詳しい心肺蘇生法・AEDの使い方は、平戸市防災ホームページに掲載しています。
●アドレス <http://www.bousai.city.hirado.nagasaki.jp/life/resuscitation.html>

AEDの使い方

- 1.電源を入れる
- 2.パッドを貼る
パッドを貼る場所は、パッドに図で表示されているので、それにしたがって患者に貼り付けましょう
- 3.コネクターを指定された場所に差し込む
機械が心電図を解析し、心室細動(心臓のけいれん)を検出すると、自動的に充電します
- 4.放電ボタンを押す

※操作手順は、すべて機械が音声メッセージを出してガイドしますので、音声メッセージのとおり操作してください。

助けるためには、まず学ぼう！
正しい知識を身に付ける
救命処置を行うには、心肺蘇生法やAEDの使い方を知る必要がある。
いざというときのために、積極的に学んで欲しい。



8月10日、平戸小学校体育館で消防本部の救急救命士から、胸骨圧迫の指導を受ける小学生。真剣な表情で取り組む。

人ごとではなく当事者意識を

8月10日、平戸小学校体育館で、救急救命講習会が開催され、小学生がAEDの使い方や胸骨圧迫の方法を学びました。

消防本部では、要請があれば学校のほかにも、企業や各種団体などに出向いて救急隊員が講習会を実施しています。一人でも多くの皆さんが、正しい知識を身に付けるためにも積極的に活用してください。

私たちも人ごとではありません。身近な人が倒れ、緊急の状況になっても、適切な対応ができるように備えることが重要です。

講習を受けた小学生に話を聞いてみた



Interview
おのうえ 優太 さん
(平戸小学校6年)

「すぐ119番通報して、人の命を助きたい」
心臓マッサージは押すのが難しく、結構力を入れて押すのできつかったです。AEDの操作も少し難しかったけど、今回いろんなことが学べて良かったと思います。
これからは、倒れている人を見つけたら、すぐ119番に電話して、人の命を助けます。



Interview
はらひ 佳奈 さん
(平戸小学校6年)

「学んだことを生かし、自分から助ける」
初めて心臓マッサージを習いましたが、思ったよりも難しかったです。けど、消防署の人がおもしろおかしく説明してくれたのでわかりやすかったです。
これからは、ここで学んだことを生かして、もし命の危険がある人を見つけたら、自分から助けたいと思いました。

特集

救える**命**がそこに

— 救急の際、私たちにもできることは —



参加者全員で救命処置を学んだ。

あなたも救急隊
私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気に襲われるかわかりません。
特に突然、意識を無くして倒れ、心肺停止状態となった場合、救急隊が到着するまでに居合わせた人が迅速で適切な救命処置を行えば、救命率は格段に上がるといわれています。
9月9日(日)～15日(土)まで「救急医療週間」です。正しい知識を身につけ、救急車が到着するまで自分が救急隊という意識を持ち、勇気を出して救命処置を行ってください。

救急のサインを見逃すな



大人(15歳以上)

- 顔が半分動きにくい、あるいはしびれる
- ろれつが回りにくい、うまく話せない
- 突然の激しい頭痛、突然の高熱
- 突然片方の腕や足に力が入らなくなる
- 支えなしで立ってられないくらいふらつく
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 突然の激しい腹痛、持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

小児(14歳以下)

- 唇の色が紫色で呼吸が弱い
- 激しいせきや、ゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い
- 手足が硬直している
- 頭を痛がって、けいれんがある
- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血が混じった

※この他、いつもと様子がおかしい場合は、ためらわず救急車(119番)を呼んでください。



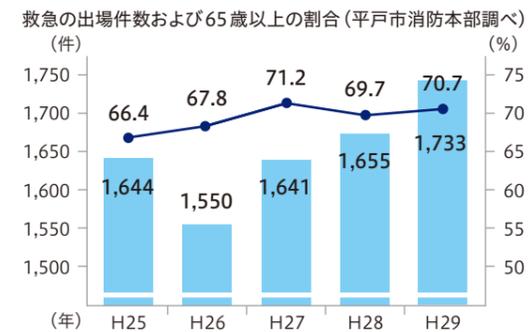
通信指令室では、24時間体制で救急要請に備えている。

普段からの備えが大切

平成29年の平戸市の救急出場件数は、1733件と過去最高で、前年に比べ78件増加しています。その中で、65歳以上の占める割合がもっとも高く、全体の

70%ほどを占めています。近年は一人暮らしの高齢者の割合も増えていきます。一人暮らしの皆さんは周りに人がいないため、自分自身が普段から救急に備えておく必要があります。いつもと調子が違うなど思うことがあれば救急のサインかもしれません。図1のような症状があれば、我慢せず119番に電話してください。

また、救急車が到着した際、救急活動を迅速に行うことができるよう「かかりつけ医療機関」「持病」などの医療情報や、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れて自宅の冷蔵庫に保管する「救急医療情報キット」を備えておくことも重要です。希望者には無料で配布していますので、市役所健康ほけん課健康づくり推進班(内線2540)までお問い合わせください。



迷ったら119番を

一人暮らしの高齢者は特に気を付けてほしい。
自分自身の命を守るために、迅速な対応ができるよう事前の備えが必要。

メール119・FAX119

聴覚(耳が聞えない)、言語(しゃべれない)に障がいがあり、音声での119番通報が困難な人を対象としたシステムです。「具合が悪くなった」「火災を発見した」など、救急車や消防車が必要なとき、携帯電話・パソコンなどのメール機能、もしくはFAXを使用した119番緊急通報をすることができます。



メール119受信装置



FAX119受信装置

利用方法

通報の仕方

●FAXの場合

平戸市消防本部FAX119専用送信用紙を記入し、局番なしでダイヤル119を押し送信する。

●電子メールの場合

- ①メールアプリの「新規メール作成」画面を出す。
- ②通報用のアドレス、救急車が向かう場所の住所、名前など必要な事項を入力し送信する。

対象者

- ・平戸市に住んでいる聴覚障害者・言語障害者
- ・平戸市の会社や店に勤めている聴覚障害者・言語障害者
- ・平戸市の学校に通っている聴覚障害者・言語障害者

申込方法

利用案内書は平戸市消防本部、各出張所に置いています。また、平戸市ホームページからダウンロード

することもできます。利用案内書の「申込書」に記入して、郵送、FAX、電子メールか、直接平戸市消防本部および各出張所まで持参してください。

●郵送の場合

〒859-5121 平戸市岩の上町733番地1
平戸市消防本部警防課通信指令係 宛

●FAXの場合

FAX番号 22-5179

●電子メールの場合

アドレス: shobo@city.hirado.lg.jp
平戸市ホームページ(注)から「メール119番通報(登録・変更・中止)申込書」をダウンロードし、必要事項を記入し、メールに添付してください。

※その他の詳しい内容は、平戸市ホームページ(注)をご覧ください。平戸市消防本部警防課通信指令室(☎22-3167)までお問い合わせください。

(注) ホームページアドレス https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/life/syobou/kasai/2018-mail119_riyouannai.html

平戸市は、4つの救急告示病院を中心に救急患者のほとんどが市内の医療機関で受け入れられています。このため、各地で問題となっている救急患者の「たらいまわし」がほとんどなく、現場で応急手当を実施した家族や関係者から救急隊そして医療機関へと「救命の連鎖」がスムーズに行えています。

私が採用された20年前は、平戸市管内で救急出場がない日もありましたが、今では出場がない日はほとんどなく、10件を超える日も多くなっています。

救急車は、本署2台、各出張所1台を配置していますが、出張所管内で同時発生した場合には本署からの出場、本署管内で3件出場の場合は、出張所からの出場となり、現場への到着時間が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急車の適切な利用についても、ご理解・ご協力をお願いします。

平戸市消防本部警防課
救急救助主任・副隊長

ちぎた ころし
千北 晃司

「救急車の適切な利用をお願いします」



Interview

医師に聞く、病院前救急の重要性

「電気ショックなので危険」と感じるでしょうが、必要ない場合は作動しないので、安心して使用してください。

最近では、公共機関や銀行、飲食店などが集まる場所にはAEDが設置されているので、探してください。

例えば「問いかけに反応がなく、呼吸が普通でない」「目の前で突然人が倒れた」場合は、ためらわずにAEDを使用しても大丈夫です。

AEDが近くにない場合は、できるだけ早く胸骨圧迫を始めましょう。一番初めに見つけた人が開始することで助かる命があります。病院に搬送されて心拍が戻った人の多くは、救急車が到着する前から胸骨圧迫を受けています。救急車が到着する前から救命は始まっています。皆さんの決断で助かる命があるのです。

市内の病院で大部分の救急症例は処置可能ですが、重症の場合は佐世保の病院に転院することがあります。また、平戸市は南北に長いので119番してから病院に到着するまでに時間が必

要なこともあります。救急は所詮「コトガデキタ」からの対策です。

もう一つの対策として日ごろからできることは「救急のお世話にならない」つまり重大な病気を防ぐことです。特に、高血圧や糖尿病を放置しておく、心臓や脳に命にかかわる病気が発生する危険率が高くなります。ぜひ、年に1回は特定健診や人間ドックなどを受診して、命にかかわる病気を未然に防いでほしいと思います。

Interview

長崎大学病院 准教授・医学博士
(平戸市民病院勤務 内科医)

なかおけ りょうた
中桶 了太 医師

※自動体外式除細動器 (Automated External Defibrillator)



おとしの消防フェスタの様子。

「ひらど消防フェスタ2018」を開催

幼年消防クラブ、婦人防火クラブ、消防団、市民などが一堂に集い消防とのふれあいを深めることで、防火意識の高揚を図るとともに防火防災の輪を広げることを目的に開催しています。

救護法の体験もあるので、ご家族で参加してください。

■とき 10月6日(土) 正午

■ところ 平戸市消防本部敷地内

■参加費 無料

■体験メニュー

救護法、放水体験、ロープ渡り体験

はしご車体験、地震体験 など

平戸消防本部予防課 ☎ 22-3167

救急車が到着するまでが勝負!

迅速かつ適切な処置が鍵

一刻も早い処置が、社会復帰できるかの鍵を握る。

最初に見つけた人は、救急車が到着するまで迅速かつ適切な行動をとってほしい。

助かった命、そのときの状況とは



みやざき ひでとし
宮崎 秀敏さん トシ子さん 夫妻
(下中津良町)

「急性心室細動」で一瞬心肺停止に。妻、救急救命士、病院の迅速かつ適切な処置のおかげもあり、現在では後遺症もなく普段どりの生活を送っています。

「2年前の7月3日でした。夜中の3時過ぎ、一緒に寝ていた主人の、異様なうめき声で目が覚めました。見ると呼吸が止まり意識もなかった。すぐに119番に電話をしました」と当時の様子を話すトシ子さん。

突然のことで、慌ててパニックになったといいます。しかし、電話先の通信指令員のある一言が秀敏さんの命を救います。「心臓マッサージはできませんか」。その言葉がなければ、主人の処置をせず、ただ家の前で救急車を待っていたと思います。職場で年に一度講習を

受けていたので、心臓マッサージはなんとかできました。救急車で市民病院に運ばれた間も、救急救命士が意識のない夫に声をかけ続けてくれました。本当にありがたかったです」と感謝の言葉を述べます。

「今でも『奇跡の生還ですね』って看護師さんから言われるんです。今年は、生き返って2歳の誕生日を迎えました。本当に皆さんのおかげです。特に、消防署には足を向けて寝れんつてよく2人で話すんですよ」と、秀敏さんは大病をしたと思えないほど元気な声で話してくれました。

「『心臓マッサージができますか』
この言葉で奇跡の生還ができました」

対応もあり、1カ月ほどで退院し、現在は後遺症もなく元気に暮らしています。

もともと血圧も正常で、他にも異常はなかったという秀敏さん。しかし予兆があったといいます。「倒れる前日のラジオ体操のとき、深呼吸したら胸が痛かったんです。その2、3日前に草刈機で草刈りをしたので、そのせいだと思い込んでいました。しかしあまりの痛みに、病院に行っただけですが、土曜の夕方だったこともあり診察は受けずに帰ってきました。今思えばそのときに診てもらえばよかった」と振り返ります。